

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7649352号
(P7649352)

(45)発行日 令和7年3月19日(2025.3.19)

(24)登録日 令和7年3月11日(2025.3.11)

(51)国際特許分類	F I			
A 4 4 C 5/14 (2006.01)	A 4 4 C	5/14	Z	
A 4 4 C 5/02 (2006.01)	A 4 4 C	5/02	C	
	A 4 4 C	5/02	D	

請求項の数 13 外国語出願 (全14頁)

(21)出願番号	特願2023-132456(P2023-132456)	(73)特許権者	591048416
(22)出願日	令和5年8月16日(2023.8.16)		ウーテアー・エス・アー・マニファク
(65)公開番号	特開2024-39611(P2024-39611A)		チュール・オロロジェール・スイス
(43)公開日	令和6年3月22日(2024.3.22)		スイス国・シーエイチ 2 5 4 0・グレ
審査請求日	令和5年9月21日(2023.9.21)		ンヒエン・シルト・ルスト・シュトラ
(31)優先権主張番号	22194856.5		セ・1 7
(32)優先日	令和4年9月9日(2022.9.9)	(74)代理人	100083806
(33)優先権主張国・地域又は機関	欧州特許庁(EP)		弁理士 三好 秀和
		(74)代理人	100111235
			弁理士 原 裕子
		(74)代理人	100195257
			弁理士 大淵 一志
		(72)発明者	シュリヒティヒ、 ドーハン
			スイス国 4 6 6 3 アールブルク シュ
			トリッケライシュトラッセ 6
			最終頁に続く

(54)【発明の名称】 携帯型物体内に含まれる取り外し可能なブレスレット

(57)【特許請求の範囲】

【請求項 1】

携帯型物体（1）の本体（3）に接続することができる取り外し可能なブレスレット（2）であって、

前記ブレスレット（2）は、可撓性の本体を設けられ、且つ前記携帯型物体（1）の本体（3）に前記ブレスレット（2）を締結するための締結端（15a）を含む少なくとも1つの端部を備え、前記締結端（15a）は、2つの剛性締結部（4a、4b）を設けられた取り付け領域（5）と、前記ブレスレット（2）を前記携帯型物体（1）の前記本体（3）に可逆的に締結することに寄与するように構成される変形可能部（6）とを含み、前記変形可能部（6）は、前記領域（5）の前記2つの剛性締結部（4a、4b）の間に配置され、

10

前記変形可能部（6）は、前記2つの剛性締結部（4a、4b）の間において画定されたギャップ（G）を変化させるように構成されることを特徴とする、ブレスレット（2）。

【請求項 2】

各剛性締結部は、前記取り付け領域（5）の前記変形可能部（6）を変形させるように構成される把持領域（10）を備えることを特徴とする、請求項1に記載のブレスレット（2）。

【請求項 3】

各剛性締結部は、前記取り付け領域（5）の前記変形可能部（6）を変形させるように構成される把持領域（10）を備え、前記剛性締結部（4a、4b）は、前記ブレスレ

20

ト(2)の内面(11a)及び外面(11b)を互いに接合する貫通孔を有する通路を備えることを特徴とする、請求項1に記載のブレスレット(2)。

【請求項4】

各剛性締結部(4a、4b)は、前記ブレスレット(2)の内面(11a)における隠された入口ポート(18)と、前記ブレスレット(2)の外面(11b)における出口ポート(19)とを設けられた通路を備えることを特徴とする、請求項1に記載のブレスレット(2)。

【請求項5】

各剛性締結部(4a、4b)は、前記ブレスレット(2)を前記携帯型物体(1)の前記本体(3)に可逆的に締結することを補助する器具の自由端を挿入するように構成される通路を備えることを特徴とする、請求項1に記載のブレスレット(2)。

10

【請求項6】

前記変形可能部(6)は、前記ブレスレット(2)の前記可撓性の本体の領域によって形成され、且つ凹部領域(6)を設けられることを特徴とする、請求項1に記載のブレスレット(2)。

【請求項7】

前記変形可能部(6)は、前記ブレスレット(2)の前記本体の可撓性領域によって形成され、且つ前記2つの剛性締結部(4a、4b)の間に含まれる前記ブレスレット(2)の周壁(8)の一部を含む凹部領域(6)を設けられることを特徴とする、請求項1に記載のブレスレット(2)。

20

【請求項8】

各剛性締結部(4a、4b)は、前記ブレスレット(2)の本体と一体に一部品として形成された突起によって形成されることを特徴とする、請求項1に記載のブレスレット(2)。

【請求項9】

各剛性締結部(4a、4b)は、引っ掛け要素(9)が配置されたベッドを備えることを特徴とする、請求項1に記載のブレスレット(2)。

【請求項10】

少なくとも1つのストランドを備えることを特徴とする、請求項1に記載のブレスレット(2)。

30

【請求項11】

前記2つの剛性締結部(4a、4b)は、前記ブレスレット(2)の前記可撓性の本体の領域によって形成される前記変形可能部(6)によって分離されることを特徴とする、請求項1に記載のブレスレット(2)。

【請求項12】

前記ブレスレット(2)は、前記物体(1)の本体(3)に前記ブレスレット(2)を可逆的に締結するように構成される取り付け領域(5)を備える請求項1に記載の取り外し可能なブレスレット(2)を備える携帯型物体(1)。

【請求項13】

時計又は宝飾品であることを特徴とする、請求項1～12のいずれか1項に記載の物体。

40

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、時計又は宝飾品等の携帯型物体の本体に可逆的に取り付けられる可撓性又は柔軟性を有する本体を備える取り外し可能なブレスレットに関する。

【0002】

本発明は、このようなブレスレットを備える携帯型物体にさらに関する。

【背景技術】

【0003】

時計等の携帯型物体のための可撓性ブレスレットは、通常、このケースの角部に接続す

50

るようにプレスレットの穴を通過するバーによって時計のケースに締結されている２本のストランドを含んでいる。このようなストランドは、プレスレットの断片として画定されてもよく、その少なくとも一方の端部は、場合によっては中間部を介して、このケースに接続される。各ストランドの他方の端部は、解放されているか、又は、例えば、プレスレットの留め具に接続され得る。単一ストランドのプレスレットも存在する。

【０００４】

このような構成では、ストランドを分解又は交換する必要がある場合、このストランドをケースに接続するバーを取り外す必要がある。従来、この作業は、プレスレットとケースの角部との間に挿入するように設計された「バーツール」として知られる工具を使用し

10

【発明の概要】

【０００５】

この目的のために、本発明は、携帯型物体の本体に接続することができる取り外し可能なプレスレットに関し、前記プレスレットは、可撓性の本体を備え、且つ前記携帯型物体の本体に前記プレスレットを締結するための少なくとも１つの端部を備え、締結端は２つの剛性締結部を備えた取り付け領域と、前記プレスレットを前記携帯型物体の前記本体に可逆的に締結することに寄与するように構成される変形可能部とを含み、前記変形可能部は、前記領域の前記２つの剛性締結部の間に配置される。

20

【０００６】

他の実施形態では、

- ・各剛性部は、前記取り付け領域の前記変形可能部を変形するように構成される把持領域を備え、
- ・各剛性部は、プレスレットの内面及び外面を互いに結合する貫通孔を有する通路を備え、
- ・各剛性部は、前記プレスレットの内面における隠された入口ポートと、前記プレスレットの外面における出口ポートとを設けられた通路を備え、
- ・各剛性部は、前記プレスレットを前記携帯型物体の前記本体に可逆的に締結することを補助する器具の自由端を挿入するように構成される通路を備え、
- ・前記変形可能部は、前記２つの剛性締結部の間で画定されたギャップを変化させるように構成され、
- ・前記変形可能部は、前記プレスレットの前記可撓性の本体の領域によって形成され、且つ凹部領域を設けられ、
- ・前記変形可能部は、前記プレスレットの前記本体の可撓性領域によって形成され、前記２つの剛性締結部の間に含まれる前記プレスレット（２）の周壁の一部を含む凹部領域を設けられ、
- ・各剛性締結部は、前記プレスレットの本体と一体に一部品として形成された突起によって形成され、
- ・各剛性締結部は、引っ掛け要素が配置されたベッドを備え、
- ・前記プレスレットは、少なくとも１つのストランドを備える。

30

40

【０００７】

本発明は、プレスレットを前記物体の本体に可逆的に締結するように構成される取り付け領域を設けられた取り外し可能なプレスレットを含む携帯型物体にさらに関する。

【０００８】

有利には、前記物体は、時計又は宝飾品である。

【０００９】

本発明の目的の１つは、時計等の携帯型物体のための取り外し可能なプレスレットを提供することであり、このプレスレットは、この携帯型物体の本体との間で、完璧な美観、

50

完璧な適合、優れた堅牢性及び組立 / 分解の容易さを正しく組み合わせたものである。

【 0 0 1 0 】

別の目的は、ブレスレットはもちろんのこと、この物体を損傷することなく、この携帯型物体の本体に可逆的に締結することができる取り外し可能なブレスレットを提供することである。

【 0 0 1 1 】

さらに、本発明の目的の 1 つは、携帯型物体の本体との間の組立 / 分解の間に特に使用される把持領域を有するブレスレットを提供することであり、これらの領域はブレスレットの本体内に隠されている / 隠蔽されている。

【 0 0 1 2 】

より一般的に、本発明の目的の 1 つは、既知の解決策の制限なしに、携帯型物体の本体との間で組立 / 分解することができる取り外し可能なブレスレットを提供することである。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 3 】

本発明の他の特徴及び利点は、添付の図面を参照して与えられた以下の詳細な説明を読むことにより、よりよく理解されるであろう。

【図 1】本発明の一実施形態による取り外し可能なブレスレットを設けられた時計等の携帯型物体の斜視図である。

【図 2】図 1 の参照部分 A の拡大図である。

【図 3】本発明の実施形態による取り外し可能なブレスレットのストランドの斜視図であり、その 1 つの締結端は、携帯型物体の本体の取り付け部と協働することができる取り付け領域を含み、この取り付け領域の 1 つの表面は、このストランドを物体の本体に可逆的に締結するように、前記取り付け部に相補的な形状 / レリーフを有する。

【図 4】本発明の実施形態による取り外し可能なブレスレットのストランドの斜視図であり、その 1 つの締結端は、携帯型物体の本体の取り付け部と協働することができる取り付け領域を含み、この取り付け領域の 1 つの表面は、このストランドを物体の本体に可逆的に締結するように、前記取り付け部に相補的な形状 / レリーフを有する。

【図 5】図 4 の参照部分 B の拡大図である。

【図 6】本発明の実施形態によるブレスレットのこのストランドの取り付け領域を含む締結端の異なる斜視図である。

【図 7】本発明の実施形態によるブレスレットのこのストランドの取り付け領域を含む締結端の異なる斜視図である。

【図 8】本発明の実施形態によるブレスレットのこのストランドの取り付け領域を含む締結端の異なる斜視図である。

【図 9】本発明の実施形態による取り外し可能なブレスレットのストランドの斜視図であり、その締結端は、把持領域を含み、各領域が、携帯型物体の本体へのブレスレットの可逆的な締結を補助 / 支援するための器具の自由端を挿入するために設けられた通路の隠された入口ポートを備える。

【図 10】本発明の実施形態による取り外し可能なブレスレットのストランドの斜視図であり、その締結端は、把持領域を含み、各領域が、携帯型物体の本体へのブレスレットの可逆的な締結を補助 / 支援するための器具の自由端を挿入するために設けられた通路の隠された入口ポートを備える。

【図 11】本発明の実施形態によるブレスレットの取り付け領域内に配置されることを意図した引っ掛け要素の斜視図である。

【図 12】本発明の実施形態による携帯型物体の本体、この場合、時計のケースの斜視図であり、この本体はブレスレットを備えており、ここに点線で示されているその把持領域内の出口ポートは、ブレスレットがこの本体に組み付けられるときに、この物体の本体によって隠される。

【図 13】本発明の実施形態による取り付け部を備えた時計の本体の斜視図であり、ここでは正面から見えている。

10

20

30

40

50

【図 1 4】本発明の実施形態による取り付け部を備えた時計の本体の斜視図であり、ここでは側面から見えている。

【図 1 5】図 1 4 の参照部分 D の拡大図である。

【発明を実施するための形態】

【0014】

図 1、図 2 及び図 1 2 は、ケース 3 及びブレスレット 2 を備える時計等の携帯型物体 1 を示しており、ここでは、このブレスレット 2 を構成するストランドの 1 つを示している。代替的に、この携帯型物体 1 は、宝飾品 / 宝石宝飾品、又は、より広義に言えば、個人が腕、脚、胴又は首等の身体の一部に着用する可能性のある任意の物体 1 であり得る。

【0015】

上述したように、このブレスレット 2 は、図 1 に示すように、ストランドを備えてもよい。より具体的には、本発明の実施形態では、このようなブレスレットは、少なくとも 1 つのストランドを備える。ブレスレット 2 又は前記少なくとも 1 つのストランドは、互いに対向する 2 つの面 1 1 a、1 1 b、すなわち、携帯型物体 1 がユーザによって着用されたときに見える外面 1 1 b 及び内面 1 1 a を有する。これらの 2 つの面 1 1 a、1 1 b は、ブレスレット 2 の周壁 8 (図 4 を含むいくつかの図で見ることができる) によって接合されており、これはその厚さにさらに対応する。

【0016】

図 3 から図 1 0 を参照すると、このブレスレット 2 又は前記少なくとも 1 つのストランドは、全体的又は部分的に可撓性又は柔軟性を有する本体を備える。ここで、このブレスレット 2 の本体全体が完全に柔軟性 / 可撓性であることを理解しなければならないが、このブレスレット 2 を締結するための剛性部 4 a、4 b は例外であり、これらは、後述する剛性引っ掛け要素 9 を備えている。ブレスレット 2 にこのような引っ掛け要素 9 がない場合、その本体が全体的に / 完全に柔軟性 / 可撓性であることが理解される。

【0017】

代替的に、この本体は、かなり柔軟であるか、又は柔軟な部分を含んでもよい。このような本体は、特に、後述するように、ブレスレット 2 を携帯型物体 1 の本体 3 に取り付けするための 1 つ以上の領域 5 を有し、この 1 つ以上の領域は、この本体の可撓性領域内に位置することに留意されたい。このようなブレスレット 2 の本体は、革、シャグリン、ゴム、プラスチック又は他の任意の可撓性材料から作ることができる。

【0018】

このようなブレスレット 2 は、図 1 に示すように、携帯型物体 1 が時計である場合には、2 本のストランドを含んでもよいことが理解される。この構成では、各ストランドは、2 つの端部 1 5 a、1 5 b を備える。

・「締結端」と呼ばれる第 1 の端部 1 5 a は、携帯型物体 1 が時計である場合に、携帯型物体 1 の本体 3 に、この場合はケース 3 に、締結 / 取り付け / 組み付け / 装着 / 接続されることを意図したものである。

・「自由端」と呼ばれる第 2 の端部 1 5 b は、携帯型物体 1 のブレスレット 2 の他方のストランドの自由端 1 5 b に、取り付け / 接続されることを意図したものである。

【0019】

別の実施形態によれば、このブレスレット 2 は、一本のストランドからなる一体部品であってもよく、その 2 つの端部 1 5 a は、携帯型物体 1 が時計である場合に、携帯型物体 1 の本体 3 に、この場合はケース 3 に締結されることを意図した締結端 1 5 a である。

【0020】

図 1、図 2、図 3 ~ 図 8、図 9、図 1 0 及び図 1 2 において、このように、ブレスレット 2 は、1 つ又は 2 つのストランドからなるかどうかに関わらず、2 つの締結端 1 5 a を備えることが好ましい。各締結端 1 5 a は、上述の取り付け領域 5 を含む。この取り付け領域 5 は、変形可能部 6 と、2 つの剛性締結部 4 a、4 b とを設けられている。この領域 5 において、これら 2 つの剛性部 4 a、4 b は、前記ブレスレット 2 を前記物体 1 の本体に可逆的に締結することに寄与するように構成される前記変形可能部 6 によって分離され

10

20

30

40

50

ている。したがって、これら２つの剛性部４a、４bは、別個の剛性締結部４a、４bであることが理解される。これらの剛性部は、好ましくは、プレスレットの可撓性の本体によって、特に、この可撓性の本体の領域／部分によって形成される変形可能部６によって分離されるため、別個の剛性部である。本発明の実施形態において、これらの別個の剛性部４a、４bは、剛性部によってではなく、変形可能部６によってのみ互いに結合されることに留意されたい。

【００２１】

このような取り付け領域５は、プレスレット２の本体と一部品として一体に形成された一体部であってもよい。このような場合、プレスレット又はこのプレスレットを構成するストランドは、それぞれ一体部である。

10

【００２２】

この締結端１５aにおいて、変形可能部６は、前記プレスレット２の可撓性の本体の領域によって形成されており、凹部容積とも呼ばれる凹部領域７を備える。この凹部領域７は、前記プレスレット２の周壁８に開口するＶ字状又はフレア状の形状にかなり類似する形状を有する。換言すれば、この凹部領域７は、２つの剛性締結部４a、４bの間に配置／包含される周壁８の一部を含む。この変形可能部６は、２つの剛性締結部４a、４bの間に画定される距離Ｇ又は間隔Ｇとも呼ばれるギャップＧを変化させるように構成される。より具体的には、このギャップＧは、これらの剛性部４a、４bに含まれる後述する引っ掛け要素９の作用部１７の間に画定される。後述するように、このギャップＧの変化は、携帯型物体１の本体３に対するプレスレット２の取り外し可能な締結を行うことに寄与する。

20

【００２３】

上述したように、取り付け領域５は、携帯型物体１の本体３に対するプレスレット２の可逆的な締結に寄与するように構成されるこの変形可能部６によって分離された２つの剛性締結部４a、４bを備える。各剛性締結部４a、４bは、プレスレット２の本体と一体に一部品として形成された突起によって形成される。換言すれば、各剛性部４a、４bは、取り付け領域５に含まれるプレスレット２の内面１１aの一部から突出している。より具体的には、各剛性締結部４a、４bは、取り付け領域５に含まれる締結端１５aの先端部に位置することが好ましい。これらの剛性部４a、４bは、プレスレット２の本体に沿って長手方向に延びる対称軸Ｄから等距離のプレスレット２の内面１１aに配置される。この対称軸Ｄは、プレスレット２を２等分するとともに、凹部領域７の対称軸Ｅと一致し、この領域７も２等分する。

30

【００２４】

各剛性部４a、４bは、例えば、図３～図１１に示すような引っ掛け要素９を備える。この引っ掛け要素９は、携帯型物体１の本体３にプレスレット２を可逆的に締結する役割を果たす。このような引っ掛け要素９は、この引っ掛け要素９をプレスレット２の本体内に、特に、取り付け領域５内に固定するための部分１６と、プレスレット２を携帯型物体１の本体３に引っ掛ける／締結する機能部とも呼ばれる作用部１７とを備える。この引っ掛け要素９の固定部１６は、一体的に一部品として形成されたこの作用部１７を部分的に囲っている。この点において、引っ掛け要素９は、好ましくは、金属材料、硬質プラスチック材料、又は剛性複合材料から作られる一体要素である。

40

【００２５】

各剛性部４a、４bには、引っ掛け要素９を備えるベッドが設けられている。より具体的には、このベッドは、この引っ掛け要素９の固定部１６を備える。この構成において、各剛性部４a、４bは、この引っ掛け要素９の固定部１６上にオーバーモールドされることが好ましい。この固定部１６は、このベッドの内壁に接着されてもよい。

【００２６】

各剛性締結部４a、４bは、取り扱い領域とも呼ばれる把持領域１０を備え、これは取り付け領域５の変形可能部６を変形させるように構成される。この取り付け領域５の変形は、特に、プレスレット２を携帯型物体１の本体３に締結／組み付け／装着する間に行わ

50

れる。この把持領域 10 は、特に、図 3 ~ 図 10 に示すように、挿入領域とも呼ばれる通路を備える。この通路は、プレスレット 2 の内面 11 a 及び外面 11 b を互いに接合する貫通孔によって形成される。この通路は、プレスレット 2 の内面 11 a に画定された隠蔽された / 遮蔽された / 隠された入口ポート 18 と、プレスレット 2 の外面 11 b に画定された出口ポート 19 とを備える。これらの 2 つのポート 18 , 19 は、対応する通路を含む各把持領域 10 の入口ポート 18 及び出口ポート 19 をさらに構成する。このような通路は、携帯型物体 1 の本体 3 へのプレスレット 2 の可逆的な締結を補助 / 支援するために、把持領域 10 において器具の自由端を挿入できるように構成される。

【0027】

各通路は、プレスレット 2 の長手方向又はプレスレット 2 の対称軸 D に対して垂直な又は実質的に垂直な方向に、プレスレット 2 の厚さを通して直線的に又は実質的に直線的に延びる。この通路は、

- ・その 2 つの端部の一方で、この面 11 a において、対応する通路の自動閉鎖を確実にするために、例えば、応力を受けていないとき、すなわち静止しているときに接触している可撓性のリップを含むスロットの形状を有する可撓性の開口部である入口ポート 18 を追跡することによって、プレスレット 2 の内側面 11 a に通じ、

- ・通路の反対側の端部で、この面 11 b において、好ましくは、円形の開口部である出口ポート 19 を追跡することによって、このプレスレット 2 の外側面 11 b に通じる。

【0028】

この把持領域 10 は、取り付け領域 5 を備えるプレスレット 2 の部分に存在する。この構成では、この把持領域 10 の通路は、プレスレット 2 の内面 11 a と外面 11 b とを互いに接合するように剛性部 4 a , 4 b を通過する。この通路は、図 11 の参照番号 20 で示された貫通開口部においても、この取り付け領域 5 に配置された引っ掛け要素 9 を貫通していることが理解される。換言すれば、この通路は、特に、この引っ掛け要素 9 の開口部 20 によっても形成されている。

【0029】

このプレスレット 2 において、把持領域 10、特に、その通路は、プレスレット 2 を携帯型物体 1 の本体 3 に可逆的に締結することを補助 / 支援するために、器具の自由端を受けように構成される。より具体的には、この器具の端部は、その入口ポート 18 を介して、これらの把持領域 10 の通路に挿入される。この挿入の範囲内で、これらの端部は、入口ポート 18 に、この場合、プレスレット 2 の本体に隠されているスロット 18 に挿入されるように、把持領域 10 に向けて案内される。このスロット 18 へのこのような挿入は、このスロット 18 のリップを広げさせ、この端部がこの通路（又は把持領域 10）の出口ポート 19 に、この場合は、開口部 19 に到達し、それを通過して、プレスレット 2 の外面 11 b に現れるまで続く。

【0030】

これらの自由端が把持領域 10 に配置されると、器具は、このケース 3 に締結されるときに、ケース 3 に対する取り付け領域 5 の取り扱い / 検査に寄与する。より具体的には、この器具は、使用時に、このプレスレット 2 をケース 3 に可逆的に締結するために、取り付け領域 5 の変形可能部 6 の変形の生成 / 発生に寄与する。

【0031】

また、これらの自由端が入口ポート 18 から除去されると、スロットのリップが再び閉じて、通路を遮蔽することに留意されたい。これらのスロット 18 のこの特定の特徴は、通路の存在、ひいては把持領域 10 の存在を隠すことによって、換言すれば、各通路の入口ポート 18 を隠すことによって、プレスレット 2 の美観特性を維持する。このような特徴は、プレスレット 2 内のこれらの通路、ひいては把持領域 10 の正確な位置を認識していない個人によってプレスレット 2 が分解されるのを防ぐのにも役立つ。言い換えれば、このような特徴は、把持領域 10 を識別することによって、子供が自分自身でプレスレット 2 を分解することを防ぐのに役立つ。このようなことは子供がこのプレスレット 2 又はそれを構成し得る要素を飲み込む等の重大な結果につながる可能性があるためである。

【 0 0 3 2 】

図 1、図 2 及び図 1 2 ~ 図 1 5 を参照すると、携帯型物体 1 は、この物体 1 の本体 3 へのブレスレット 2 の締結の範囲内で、取り外し可能なブレスレット 2 の取り付け領域 5 と協働するように構成される取り付け部 1 2 を備える。取り付け部 1 2 及び取り付け領域 5 は、ブレスレット 2 を携帯型物体 1 の本体 3 に締結するための互いとの最適な協働を確保するように、互いに他方の表面と形状 / レリーフが相補的な表面を有する。換言すれば、取り付け部 1 2 の表面は、取り付け領域 5 の表面の形状 / レリーフと相補的な形状 / レリーフを有する。

【 0 0 3 3 】

携帯型物体 1 の本体 3、ここでは時計 1 のケース 3 の取り付け部 1 2 は、ブレスレット 2 の取り付け領域 5 を受けるように構成されるベッド 1 3 を備える。このベッド 1 3 は、この取り付け部 1 2 の表面によって全体的に又は部分的に形成される。このようなベッド 1 3 は、

・互いに平行又は実質的に平行な壁 1 4 a を備える第 1 の部分であって、

- ブレスレット 2 を携帯型物体 1 の本体 3 に締結 / 組み付け / 装着する間に、このベッド内の対応する取り付け領域 5 の配置を案内すること、及び

- ブレスレット 2 を携帯型物体 1 の本体 3 に締結する際に、この取り付け領域 5 をベッド内に保持することに寄与すること、

- ブレスレット 2 の把持領域 1 0 の出口ポート 1 9 を遮蔽し、隠し、隠蔽すること
が可能な第 1 の部分と、

・携帯型物体 1 の本体 3 にブレスレット 2 を締結する文脈内で、取り付け領域 5 の引っ掛け要素 9 の作用部 1 7 を受けて協働するように構成される引っ掛け領域を形成する空洞 1 4 b を含む第 2 の部分とを含む。

【 0 0 3 4 】

携帯型物体 1 が時計である場合には、このケース 3 の周壁に画定された 2 つの取り付け部 1 2 を備えることが好ましい。このようなケース 3 では、これらの取り付け部 1 2 は、互いに対向して、このケース 3 の回転軸 F から等距離に配置される。

【 0 0 3 5 】

このように、本発明は、一実施形態において、携帯型物体 1 の本体 3 に接続することができる取り外し可能なブレスレット 2 に関するものであり、このブレスレット 2 は、可撓性の本体を設けられ、且つ携帯型物体 1 の本体 3 にブレスレット 2 を締結するための少なくとも前記端部 1 5 a を備え、前記締結端 1 5 a は、2 つの別個の剛性締結部 4 a、4 b を備えた締結領域 5、及びブレスレットの可撓性の本体の領域 / 部分によって形成される変形可能部 6 を備え、前記部分 6 は、携帯型物体 1 の本体 3 にブレスレット 2 を可逆的に締結することに寄与するように構成される。この文脈において、変形可能部 6 は、前記領域 5 の 2 つの剛性部 4 a、4 b の間に配置され、及び / 又はこの変形可能部 6 は、この領域 5 の 2 つの剛性部 4 a、4 b を分離する。

【 0 0 3 6 】

また、本発明の一実施形態は、ブレスレット 2 を携帯型物体 1 の本体 3 に締結するためのシステムにさらに関することに留意されたい。このシステムは、携帯型物体 1 及びそのブレスレット 2 に加えて、ブレスレット 2 を携帯型物体 1 の本体 3 に組み付ける（又は分解する）動作の間に、携帯型物体 1 の本体 3 の取り付け部 1 2 に対してブレスレット 2 の取り付け領域 5 を取り扱うための器具を備える。

【 0 0 3 7 】

このシステムでは、ブレスレット 2 の取り付け領域 5 の把持領域 1 0 にこの器具の自由端を挿入し、これらの自由端を離間させるためにこの器具に力を加え、ブレスレット 2 の取り付け領域 5 の剛性締結部 4 a、4 b に含まれる引っ掛け要素 9 の 2 つの作用部 1 7 間のギャップ G を増加させる。この構成では、剛性部 4 a、4 b、特に引っ掛け要素 9 が取り付け部 1 2 のベッドの表面に当接することなく、携帯型物体 1 の本体 3 の対応する取り付け部 1 2 に取り付け領域 5 を容易に挿入又は取出すことができる。

【 0 0 3 8 】

ブレスレット 2 を携帯型物体 1 の本体 3 に着脱可能に締結する場合、ブレスレット 2 の各取り付け領域 5 は、携帯型物体 1 の本体 3 の対応する取り付け部 1 2 に配置される。この構成では、把持領域 1 0、特に、各把持領域 1 0 の通路の出口ポート 1 9 は、携帯型物体 1 の本体内に隠されている。図 1 2 を参照すると、携帯型物体 1 が時計の場合、把持領域 1 0 の各出口ポート 1 9 は、この時計 1 のケース 3 の中央に隠されている。

【 0 0 3 9 】

上記の実施形態では、ブレスレット 2 は、携帯型物体 1 の本体 3 に直接取り外し可能に締結されており、ブレスレット 2 の各取り付け領域 5 は、携帯型物体 1 の本体 3 の対応する取り付け部 1 2 内に位置している。

10

【 0 0 4 0 】

図示していない代替的な実施形態では、このブレスレット 2 は、携帯型物体 1 の本体 3 に接続された取り付け要素によって、携帯型物体 1 の本体 3 に間接的に且つ取り外し可能に締結され得る。より具体的には、携帯型物体は 2 つの取り付け要素を備えており、各要素は、この本体に締結された第 1 の端部と、前述の参照番号 1 2 で示した取り付け部と同様の取り付け部を有する第 2 の端部とを備える。この構成では、ブレスレット 2 の各取り付け領域 5 は、対応する取り付け要素の取り付け部に配置され得る。この文脈では、携帯型物体が時計の場合、各取り付け要素は、その第 1 の端部を介してケースの角部に接続されることに留意されたい。最後に、この取り付け要素は、かなりの可撓性又は半剛性であり得ることに留意されたい。

20

【 0 0 4 1 】

本発明は、本明細書に記載した実施形態に限定されるものではなく、添付の特許請求の範囲に定義された本発明の範囲を離れることなく、当業者が様々な簡単な代替案及び変形を考慮することができることは言うまでもない。

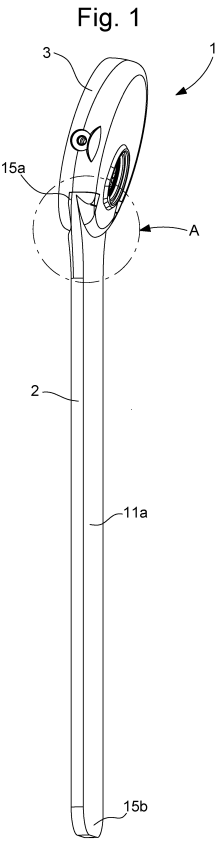
30

40

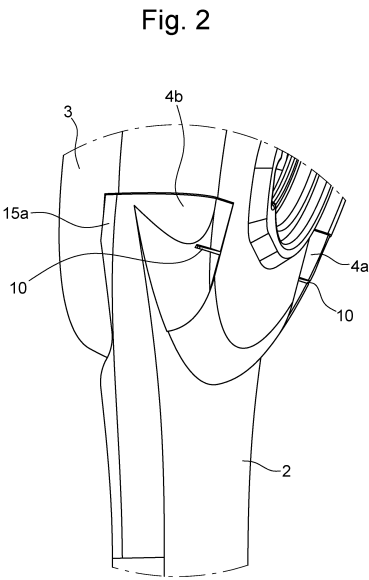
50

【図面】

【図 1】



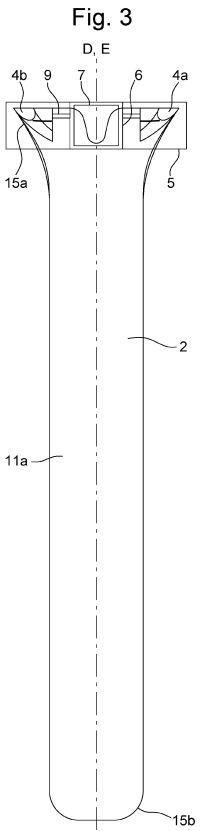
【図 2】



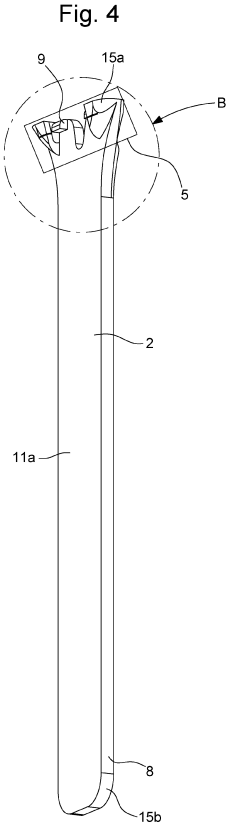
10

20

【図 3】



【図 4】



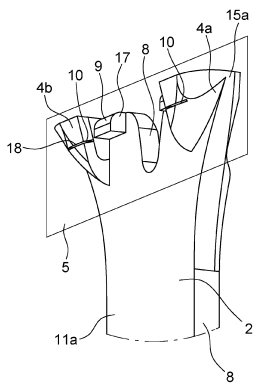
30

40

50

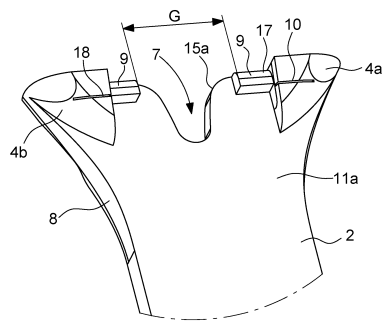
【 図 5 】

Fig. 5



【 図 6 】

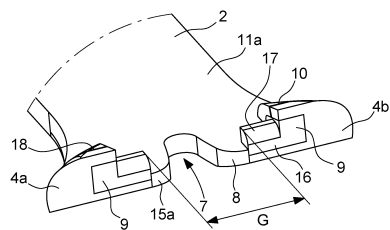
Fig. 6



10

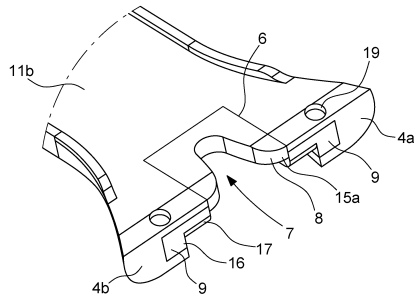
【 図 7 】

Fig. 7



【 図 8 】

Fig. 8



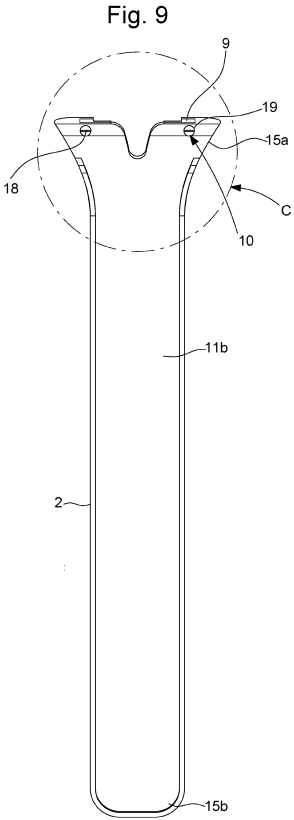
20

30

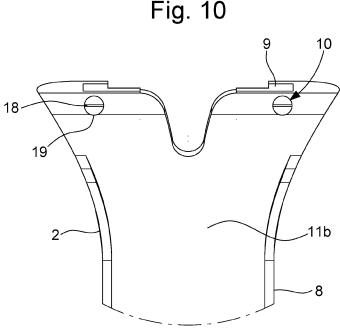
40

50

【図 9】



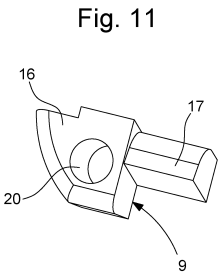
【図 10】



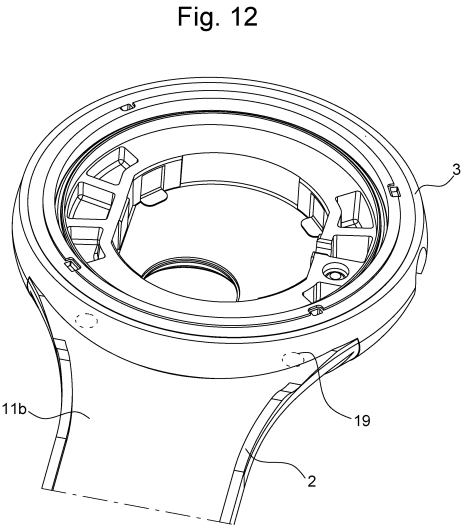
10

20

【図 11】



【図 12】



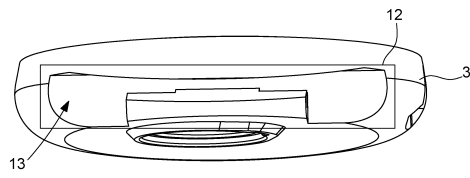
30

40

50

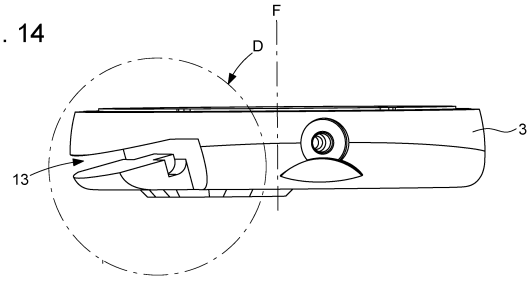
【図 13】

Fig. 13



【図 14】

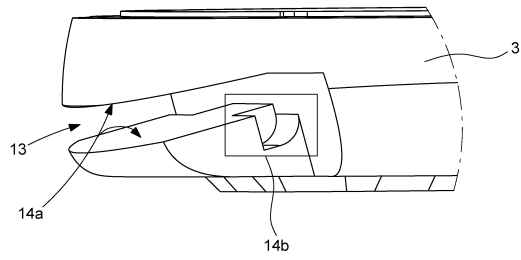
Fig. 14



10

【図 15】

Fig. 15



20

30

40

50

フロントページの続き

(72)発明者 シェンク、 マルク

スイス国 2 5 2 5 ル ランドゥロン ポン - ド - ヴォー 4

審査官 栗倉 裕二

(56)参考文献 欧州特許出願公開第 0 1 6 8 8 0 5 6 (E P , A 1)

実開昭 6 2 - 0 9 2 7 0 8 (J P , U)

(58)調査した分野 (Int.Cl. , D B 名)

A 4 4 C 5 / 1 4

A 4 4 C 5 / 0 2